

# えほんの アリス



さく：ルイス・キャロル

やく：おおくぼ ゆう

え：あおみ



# えほんの アリス



さく：ルイス・キャロル

やく：おおくぼ ゆう

え：あおみ

# えほんのアリス

ルイス・キャロル 著

おくぼ ゆう 絵

# 1 しろウサギ

むかしむかし アリスという おんなのこが いてね、 とっても へんてこな ゆめを みたんだ。

いったい どんな ゆめだったか、 ききたい？

さて、 これが はじめの ばめん。 しろウサギが すぐそばを おおあわてで はしっていくところ、 アリスと すれちがいざま あしを とめて ポケットの

とけいを とりだしてね。

そんなの おもしろくないって？ よく みてごらんよ、 ウサギが とけいを ポケットに いれて もちあるいてるんだよ？ そりゃあ ウサギだって とけいを もつなら ポケットに いれるってもんさ。 くちに いれたって もちはこべないしね —— それに はしりまわるんなら、 てが たりなくなるし。

あと おめめが あかくない？ (しろウサギって みんな おめめが あかい

と おもうんだけど。) みみも あかい、 きている うわぎは すてきな ちゃいろ、 それにはら ポケットから あかい ハンカチが のぞいてる。 ほかにも あおの ネクタイやら きいろの チョッキとか、 ほんとに とっても おしゃれで。

「やんぬるかな！」と ウサギさん。「ちこくで おじゃる！」 いったい どこへ ちこくしそうなのかな？

うん、 それはね ごぜんさまの ところなんだ。 (もうちょっとしたら だいどころにいる そのひとの えが でてくるからね。) ごぜんさまはね いつも いらいらして おばさまのこと。 ウサギさんは またせたりしたら ひどく しかられるって おもってね。 かわいそうに これでもかってくらい びくびく。 (どんなに ぶるぶるしてたか わかる？ ちょっと ほんを ゆすってごらん、 みぎひだりに。

ほら、 ぶるぶるしてる。) だってね ウサギさん ばつとして くびを ちょんぎられるかもしれないんだよ。 ハートの クイーンが いつも やることなんだけど、 はらを たてたら ちょきん (さしえは また あとでね)。 といっても その



ひと いつも ちょんぎれって いいつけるだけで、 そうなると おもいこんでるん  
だけど じつは だあれも そんなこと しない。

はてさて、 しろウサギが はしりぬけていったんだけど、 アリスは そのさきが  
きになってね。 だから ついてったんだ。 で、 はしって はしっていると い  
きなり ウサギあなたに おっこちちゃって。

ずっと ずっと おちつづけてね。 ぴゅーーううーーうう、 このまま せかい  
を まっすぐ つきぬけて、 うらがわに でちゃうんじゃないかって アリスは そ  
んな きがしてきて！

ふかい ふかい いどみたいなのに おみずは ぜんぜん なくって。 こんなところへ ほんとに おちちゃったら どんなひとだって きっと しんじやう。 でもほ  
ら ゆめのなかだから おちたって けがひとつ ない。 だって おちてると おも  
ってるあいだも ほんとは よこになって なんのこともなく ぐっすり ねむってる  
だけなんだから！

それでも いつかは あのそこに たどりつくわけで、 アリスは うずたかく  
つまれた おちばと えだのうえへ どすん。 けがひとつ なく ぴょんと おきあ  
がると また ウサギのあとを おいかけたんだ。

こうして アリスの へんてこな ゆめが はじまったってわけ。 こんど しろウ  
サギを みかけたらね、 アリスちゃんみたく へんてこな ゆめを みてみたら い  
いんじゃないかな。

## 2 アリス おっきくなりすぎ

というわけで アリスは ウサギあなたを おっこちたあと じめんのなかを えんえん はしってたんだけど、 きがついたら いきなり おおきな ひろまに いてね、 まわりに ぐるりと ドアが いっぱい。

ところが どのドアも かぎが かかってて。 てことは かわいそうに アリスは ひろまから でられない。 だから なんだか かなしくなってきてね。

それでも しばらくしてから

テーブルのそばに いって。

ぜんぶ ガラスで できていて  
さんぽんあし（さしえでは 2ほんが はっきり、 のこりの 1  
ぽんが ちらっと みえてるよね  
、 わかる？）、 で そのテーブルのうえに ちっちゃな かぎ  
が あった！ ひろまを ぐるり  
と まわって、 これで ドアが  
どれか あかないか ためして  
みたんだけど。

かわいそうな アリス！ その  
かぎ どのドアも ひらけなく  
って。 でも さいごに やって  
きた ちっちゃな ドア、 するともう うれしいのなんの、 かぎが ぴったり あ  
ったんだ！

そのちーっちゃん ドアを あけて、 しゃがみこんで なかを のぞきこんだんだけど、 なにが みえたと おもう？ もう とーっても すてきな おにわで！ そ  
こに いきたくって いきたくって！ なのに ドアが ちっちゃすぎるんだ。 から  
だを おしこんでも とてもむりで。 きみが ねずみの すあなに はいれないのと  
おんなじこと！

かわいそうに アリスちゃんは しっかり とじまりして、 かぎを テーブルに  
もどしてね。 すると さっきまで なかったものが あるってことに きがついて（  
もういちど さしえをみてね）、 これ いったい なんだと おもう？ こびんだ  
よね、 ラベルが ついていて そこには 「ノンデ」 の もじ。



そんなわけで くちを つけてみる。 すると とっても おいしくて、 あらためて いっきのみ。 そのあと もう へんてこなことに なってさ！ おもっても みないことだよ。 ふふ、 じつはね。 アリスが ちいさく ちいさくなつていって、 さいごには ちっちゃな おにんぎょうさんくらいの おおきさに なったんだ！ そこで ひとりごと。「あら このおおきさなら ちいさなあのドアも うまくとおりぬけられてよ！」ってことで はしりだす。 でもね たどりついた ドアはあかないわけで、 かぎは テーブルのうえ、 しかも これじゃあ とどかない！ どうして しっかり とじまりなんか しちゃったんだろうね！

はてさて、 そこで また みつけたのが ちっちゃな パンケーキ。 こんどはこげあとが 「タベテ」って ことばに なってて。 なので さっそく たべて ぜんぶ のみこんだ。 そのあと どうなったと おもう？ うん、 おもいも よらないこと！ ふふふ、 じつはね。

アリスは おっきく おっきーくなつていってね。 せなんか もとよりも たかくって！ こどもよりも おっきく！ おとなよりも おっきく！ ぐんぐん によきによきと！ えを みてごらん、 こんなに のびちゃってさ！

いったい どっちがいいと おもう？ ネコちゃんくらいの おおきさの ちっちゃな アリスと、 てんじょうに あたまを ぶつけっぱなしの おっきな アリス。

### 3 なみだまり

もしかして アリスが たのしんでるとか おもってる？ ちいさい パンケーキを たべて きづいたら とんでもなく おっきくなってたからって。 そりゃあ なんなく ガラステーブルから かぎを ひろえるし、 ちっちゃな ドアも あけられる けど。

うん そりゃあ できるとも。 でもね、 とおれないのに ドアを あけて どうなるって いうの？ ひどいってもんじゃないよ、 かわいそうに！ あたまを ゆかちかくまで ひくくすれば、 かためで なんとか のぞけるくらいなんだ！ でもできるのは それだけ。 こう おおきくなってしまうと、 すわりこんで、 むねがさけそうなくらい おおごえで なくのも むりない はなし。

えーん えーん ないて。 そのうち なみだが ひろまの まんまんなかに こぼれていって、 かわが ながれるみたいに なって。 あっというまに おおきな なみだまりが できて、 ひろまの はんぶんが ひたっちゃった。

もう どうしようもないとこだったんだけど、 そこへなんと たまたま しろウサギが ごぜんさまのもとへ むかうところ このひろまを とおりがかったんだ。 めいっぱい めかしこんでて、 かたてには しろの かわてぶくろ ひとくみ、 もう かたてには ちいさな おうぎ。 ぶつぶつ ひとりごとを いっててね、「あいや、 ごぜんさま、 ごぜんさま！ おまたせして かんかんだなんて いやでおじやる！」

なのにさ アリスに めもくれず。 そこで くちを あけて 「もし、 よろしくって 一一」 なんていうと てんじょうから こえが してるみたいで。 なにせ あたまが たかーいところに あったからね。 すると ウサギは ものすっこおびえて。 てぶくろと おうぎを とりおとして、 ぜんそくりよくで にげて った。

そこで ほんっと へんてこなことに なって。 アリスが おうぎを とりあげて じぶんで あおぎだしたんだ。 すると ごらんあれ、 みるみる ちいさくなって、 1 ぶんも したら ネズミくらいの おっきさに！

ここで さしえを みてね。 つぎに おこったこと もう わかるよね？ ほんとに うみみたい、 ね？ でも まちがいなく これは さっきの なみだの いけ—— ぜんぶ アリスのなみだで できたものなんだ！



そういうわけで アリスは いけに ぼちやん。 ネズミも ぼちゃん。 いろんなのが



いっしょになって およいでる。  
このえの およいでる アリス、 かわいく  
なあい？ みなもの したあたり、 アリスの  
あおい くつした みえるよね？

でも このネズミ どうして こんなに あ  
わてて およいで アリスから はなれようと  
するのか。 はて そのわけは、 アリスが  
イヌネコについて はなしだしたからなんだ。

ネズミは いつだって イヌネコの はなし  
なんか いやだからね！

きみが じぶんの なみだで できた いけ  
を およいでるとして、 そこで だれかが  
おべんきょうとか おくすりのことを はなし  
だしたら、 やっぱり めいっぱい およいで  
どこか いっちゃいたくならない？

## 4 ドードーめぐり

アリスと ネズミが なみだの いけから あがると、 やっぱり ずぶぬれで。たくさんいた へんてこ いきものたちも おんなじで、 みんな いっしょに おっこちててね。 そこにいたのは ドードー（まんまえに いる おおきな とりで、つえに よっかかってるね）、 それと アヒルに インコ（アヒルの まうしろであたまごしに みてる やつね）、 あと こどもワシ（インコの ひだりがわに いる やつ）とか そのほか いろいろ。

さてところで そのみんなだけど どうやって からだを かわかしたものか さっぱり わからなくって。 けれども ドードーが —— あたまの いい とりだから —— ドードーめぐりを するのが よろしい なんて いってね。 いったい なんのことだと おもう？

わからない？ だったら きみは まだまだ こどもだね！ じゃあ よおく きいてね、 すぐに ちゃんと わかるから！

まずは はしる コースを つくること。 そのかたちは まるなんだけど とりあえず ちゃんと まるになって ひとつに つながってれば なんでもいい。

とにかく やるひとは コースの あちこちに たって、 くっつきすぎなければ なんでもよくて。

しかも 「いちについて よーいどん！」なんて かけごえも いらなくて、 みんな すきなときに はしりだせばいいし、 すきなときに やめていい。

そこにいた いきもの、 アリスと みんなは ぐるぐる はしりっぱなしで それを かわききるまで つづけたんだ。 で、 さいごに ドードーが みんなのかちって いって、 みんな ごほうびが もらえることに！

もちろん アリスが ごほうびを あげる やく。 とはいえ あげるほどのものもなくってね、 たまたま ポケットに ドライフルーツが あったもんだから、 ひとりひとつずつ みんなに わけた。 すると アリスのぶんの ごほうびが たりなくって！

そこで どうなったと おもう？ あと アリスが もってたのは、 おさいほうのゆびぬきだけ。 ほら さしえを みて、 どうなったか わかるよね。

「こっちへ かしなされ。」って ドードーが いった。

で、 ドードーは ゆびぬきを うけとて、 また アリスに かえして、 こんなことば。「みごとな このゆびぬきを われらより おうけとりくだされ！」 というわけで そのばの いきものが ぱちぱち わーわー。

こんな へんてこな おくりものって ある？ かんがえてもみてよ、 おたんじょうびプレゼントを くれるってひとが、 きみの おもちゃばこのところへ いって、 そこの きれいな おにんぎょうを とりだして 「はい、 いいこだから このすてきな おたんじょうびプレゼントを あげよう！」 なんて いうのと、 まだ もつてない あたらしいものを くれると、 どっちが いい？

## 5 トカゲの ビル

さあて つぎの おはなしは、 しろウサギの おうちで アリスが どうしたか。 おぼえてる？ ウサギが てぶくろと おうぎを おとしたときのこと。 アリスの こえが そらから きこえてきたのかって びっくりしたんだよね。 だから てぶくろも おうぎも ないままじゃあ そりやあ ごぜんさまのところへも おうかがい できない。 そこで ちょっとしてから さがすために ひきかえしたんだ。

ドードーと へんてこどうぶつたちが どこかへ いっちゃうころには、 アリスもひとりきりで あたりを うろついててね。

で、 ウサギさん どうしたと おもう？ なんと アリスを じぶんちの メイドさんと かんちがいして、 あれこれ いいつけだしたんだ！ 「メリアン！ いますぐ うちに いって、 てぶくろと おうぎを とってくるでおじやる！ いそぐで おじやる！」

ひょっとすると あかい おめめは まえが あんまり みえないのかも。 だって アリスと メイドさんは にてもにつかないんだよ？ それでも とっても いい こだったから、 ちっとも きをわるくせずに ぜんそくりよくで ウサギの おうち へ むかってね。

つごうよく ドアは あいてて。 だって ちりんちりん やることになったら、 きっと ほんものの メリアンが ドアを あけにくるからね。 そうしたら アリスは なかに いれてももらえない。 それから うんよく ほんものの メリアンには あわないまま かいだんを とことこ のぼれて。 アリスが どろぼうだって つかまえられたら たいへんだからね！

あがって すすんで ウサギの おへやに はいると、 その テーブルのうえに てぶくろが おいてあったから、 さっと とって でていこうとした そのとき、 たまたま めにはいったんだ。 テーブルのうえの こびんが。 もちろん あのこ とば 「ノンデ！」って ラベルつき。 そりやあ アリスも のむよね！

まったく、 よかった よかった。 じゃない？ だって ここで のまなかったら、 これから はなす すてきな おはなしも おこらなかつたんだから。 そうなると やっぱり ざんねんだよね？

もう アリスの おはなしにも なれてきたから、 つぎに どうなるか わかる よね？ むりなら きいてて。

おっきく おっき一くなつたんだ。 ほんの あつというまに おへやは アリスで ぎゅうぎゅう、 まるっこい びんに ジャムが ぎっしり つまってる、 ちょう

ど ああいう かんじ！ てんじょうまで ずっと アリスで、 おへやの どのすみ  
にも アリス！

ドアは うちがわに ひらくものだったから、 やっぱり どうやっても あく す  
きまが ないわけで。 そのとき ウサギが まちくたびれて じぶんで てぶくろを  
とりにかえってきたんだけど、 もちろん なかに はいれなくって。

で、 どうしたと おもう？（さて ここで さしえ。） トカゲの ビルを お  
うちの やねに のぼらせて、 えんとつを おりてけって いいつけたんだ。 とこ  
ろが たまたま アリスの かたあしが だんろに つっこんでてね。 ビルが えん  
とつを おりてくる ものおとが したとき、 かるく ちょこんと けりあげちゃつ  
たから、 ビルは はじきとばされて、 おそらへ ぴょーんと でっちゃったんだ。

かわいそうな ビルくん！ そう おもわない？ きっと ものすごく ふるえて  
たよ！

## 6 かわいい ワンコちゃん

えつ、 そんなワンコちゃんには みえないって？ でもほら、 いまは アリスの ほうが ちっちゃくなっちゃったから。 そういうわけで ワンコが おっきく みえる。 しろウサギの おうちで みつけた ちいさな ふしぎな パンケーキ、 それを ひとつ たべた アリスは ぐんぐん ちいさくなつて そのまま ドアを とおれるようになってね。 そうでないと もう おうちから そとへ でられないところだった。 かわいそう、 じゃない？ だって これから はなす へんてこな ことなんて ゆめにも おもってなかつたんだもん。

とにかく ほんとは ちいさな ワンコ、 ね。 かわいい ペットじゃ なあい？ なら ちょっと このようすを みて、 アリスの さしだした ぼうきれに ほえてるよね！ ほら アリスも ちょっと こわがってる、 ずーっと。 だって でつかい アザミの かげに かくれてるし、 こっちに とびかかってくると いけないからね。 そうなつたら 4とうだての ばしゃに ひかれたのと おんなじくらい アリスが ひどいことに なつちゃう！

ペットの ワンコちゃん きみの おうちでも かつてる？ いるなら いつも イヌに やさしく、 ちゃんとした えさを あげてると いいんだけど。

むかしむかし あるところに ぼくの しりあいの こどもたちが おりました。 せのたけは きみと おなじくらい。 ペットに ワンコを かつてありました。 なまえは ダッシュ。 これは そのこどもたちから きいた、 たんじょうびの ごちそうを あげたときの おはなし。

「しってる？ あるひね、 そういえば きょう ダッシュの たんじょうびだって なつて、 いったの。『ダッシュに たんじょうびの ごちそうを あげようよ。 あたしたちも たんじょうびに もらうでしょお？』 でね、 いっぱい かんがえて 『じゃあ なにが いちばん いいかな、 じぶんたちの たんじょうびなら？』 でね、 また いっぱい かんがえて さいごに みんなで ひとつに きめたの。『じゃあ オートミールの おかゆだね、 ぜつたい！』 だからね、 ダッシュも ぜつたい きにいるって おもつたの。

おてつだいさんの とこに いって、 ひとさら おかゆを つくつてって いつてね、 それから ダッシュを おうちに よんできて いったの。『さあ ダッシュ、 おたんじょうびの ごちそう あげる！』 ダッシュが よろこんで とびはねる って おもつたのに、 なのに かみついてきて！

だから まえに おさらを おいて、 いったの。『もう ダッシュ、 がっつかな

いの！ いいこだから おとなしく たべて！』  
で、 ダッシュ ペろぺろって したを つけたんだけど、 そうしたら、 その、  
とんでもない かおに なっちゃって！ でね、 あのね、 だいきらいだって、  
もう ちっとだって たべるもんかって！ だから あたしたち スプーンで ぜんぶ  
のどに ながしいれなきゃいけなくって！」  
アリスも この ワンコに おかゆを あげるのかな？ するとは おもえないけ  
どね。 そんなの どこにも もってなかつたし、 さしえにも おさらが ないしね  
。

## 7 あおムシ

ワンコから にげだしたあと、アリスが どうなったか しりたい？ ほら じゃれるには ほんと おおきすぎる どうぶつだったからね（たとえば カバの こども。 いっしょに たのしく じゃれられる？ むりだよね、きっと でっかい あしで ずどんと パンケーキみたく ぺしゃんこに されちゃう！）。だから きづかれずに にげだせたとき アリスは ほっとしたんだ。

で、あちこち うろついたんだけど、なにを したら もとの おおきさに もどれるのか さっぱりで。そりゃあ なにかを のみくいすれば いいんだろうけど。これまでも そうだったしね。でも それが なんなのか おもいも つかなくって。

そんなとき ふと あらわれたのが でっかい キノコ。せたけが たかくて つまさきだち しないと てっぺんに あるものなんて みえなくって。で なにがみえたと おもう？ こんなの ぜったいに いいあてらんないね！

なんと おっきな あおムシ。

いまから はじまるのが アリスと あおムシの おはなしなんだけど、まずはこのさしえを よく みてね。

あおムシの まんまえに おいてある へんてこなのは みずギセル。けむりをすうために つかうんだ。ながい くだを とおって けむりが、へびみたく うねうね やってくるってわけ。

で、あおムシの ながっぱな、しゃくれあご、わかる？ というより、はなみたいな あごみたいなもの、が ただしいかな？ ほんとは あしのうちの ふたつなんだけど。ほら イモムシは あしが たくさん あるよね。そのしたをみてくと どんどん ついてるし。

きっと めんどうだと おもうんだけど、あおムシは まいばん なくなつてないか あんなに たくさんのが あしを かぞえるんだって！

それに すっごく めんどうだと おもうんだけど、どのあしから うごかしたらいいか きめなきやいけないんだってさ。なんせ 40も 50も あしが あるから、ちょっと あるくにしても どのあしから うごかしたらいいか きめるだけで それなりの じかんが かかるって、もう あるくどころじゃないよ！

ともかく アリスと あおムシ いったい なにを おはなししたんだろうね？

その、アリスは いったんだ、おおきさが いろいろ かわって もう わけがわからないって。

すると あおムシが、 ちょうど いまの おおきさ、 これを どう おもうってきいてきてね。

アリスの へんじは、 もうちょっとくらい おおきくなりたい —— 8センチじゃあ あんまりな おおきさだって！（8センチを はかってみるとしたら なかゆびくらいの おおきさかな、 ほら このときの アリスが それくらい。）

そこで あおムシが おしえてくれて。 キノコの かたはしを たべると おっきくなつて、 もうかたはしを たべると ちっちゃくなれるぞって。

なので アリスが 忙きれ ちぎって おそるおそる くちに いれると、 まあけっこう いいかんじの せかっこうに なんとか なれてさ！ ようやく ごぜんさまのところへ むかったんだ。

## 8 ブタの あかちゃん

---

アリスが ごぜんさまのところへ うかがった おはなし、 ききたい？ ほんとにおもしろい おうかがいに なってね。 きたいして いいよ。

もちろん はじまりは ドアの ノック。 でも だつれも でてこなくって。 だから じぶんで あけることに。

さあて さしえに めをやると、 なかに はいった アリスの めに とびこんだものが ちょうど わかる。

ドアが まっすぐ だいどころに つづいていてね。 ごぜんさまは おへやの まんなかに すわって あかちゃんを あやしてる。 あかちゃんは わんわん。 スープは ぐつぐつ。 コックさんが スープを ませませ。 ネコ —— チェシアネコが —— にやにや、 チェシアネコは いつも そうなんだ。 アリスが はいつてきたときは ぜんぶが こんなぐあい。

ごぜんさまは すてきな ぼうしと ガウンを みにつけてる、 よね？ でも ざんねんながら かおは あんまり すてきじゃあなくって。

あかちゃんは —— まあ きみだって もっと かわいいこ みたこと あるとおもうんだけど、 その、 もっと おとなしいこ、 ね。 でもね いま よおくみておいてね、 つぎ でてきたときに わかるかどうか たしかめるから！

コックは —— まあ もっと うでききの コック ひとりふたり あったことがあるかもね。

でもでも きっと これより ものすごい ネコは みたこと ないはず！ だよね？ ちょっと こんなネコちゃん かってみたくない？ みどりの めが あいらしくって、 えがおも とっても かわいくて。

ごぜんさま アリスには ひどく ぶしつけで。 まあ しょうがない。 その、 じぶんの あかちゃんなのに 「ブタ！」とか よぶくらいだし。 ブタじゃない、 よね？ あと コックに アリスの くびを たたつきって いいつけたんだけど、

もちろん そんなこと コックは しなくて。 さいごには あかちゃんを こっちに なげつけてきてさ！ だから アリスは あかちゃんを うけとめて、 つれだしたんだ。 そうするしか なかったと おもう。

というわけで おうちから はなれて、 もりを ぬけて、 かわいくない そのあかちゃんを かかえていってね。 すごい じたばたしてたから つかまえておくのも ほんとに たいへんで。 でも さいごには ひだりあしと みぎみみを ぐつとつかめば いいって きづいたんだ。

でも ふつうの あかちゃんを こんなふうに つかんでみちゃあ いけないよ、  
めっ！ こんなふうに あやされたい あかちゃんなんて あんまり いないからね  
！

さて、 あかちゃんは ぶーぶー いいづけてるわけで。 だから アリスも ま  
がおで いわなきゃいけない。「もし ブタに なっちゃうんなら もう なんにも  
してあげなくてよ、 いいこと！」

って おわりに かおを のぞいてみたんだけど、 いったい どんなことに なっ  
てたと おもう？ さしえを ごらん、 こたえあわせ。



「えっ、 アリスが あやしてるの、 あのあかちゃんじゃ ないよ？」

ほおら、 やっぱり わかんなかった。 だから よく みておいてって いった  
のに！ うん、 これが あのあかちゃん。 こブタに かわっちゃったんだ！

なので、 アリスは したに おろして、 もりのなかへ はなしてね。 そこで  
ひとりごと。「ほんっと かわいくない あかちゃん！ でも ブタに なったら  
ちょっとは ましかも。」

そのとおりだと おもわない？

## 9 チェシアネコ

ひとりぼっち、ひとりぼっち！ かわいそうな アリス！ あかちゃんどころか  
ブタも もう いっしょじゃない！



そんなとき チェシアネコが あたまのうえの きに やどってたもんだから、 と  
っても うれしかったこと わかるよね。

たしかに ネコは とっても すてきな えがおなんだけど、 ちょっと みて、  
はが ぎっしり！ アリス すこしだけ ひいてない？

うん、 まあ、 すこし。 でも やっぱり ネコだって はは いるわけで。 そ  
れに いらいらしてたら なるべく にやにやは しないしね。 だから それなりに  
アリスも うれしくって。

アリス とっても おすまししてなあい？ あたまを すくと もたげて、 りよ  
うてを うしろに まわして、 まるで ネコに ものを おしえてるみたい。

そういえば おしえておきたいことが ちょっと あるんだ。 アリスと ネコの  
このさしえを みておいてね。 さて へそを まげないでね、 おねがい！ ほん

の まめちしきだから！

きの そばに、 キツネノテブクロが あるの わかる？ これ、 どうして キツネノテブクロって いうか しってる？ もしかして キツネと かかわりあるとか おもってる？ まちがい！ キツネは てぶくろ はめないよ！

もともとは 「こびとの てぶくろ」って いったんだ。 でも 「こび」って きつねの ばけものでも あるからね。

ここで まめちしきは おしまい。 いらいらが おさまるまで ちょっと まってるね。

どう？ すっかり おちついた？ もう だいじょうぶ？ くちの すみも ひんまがってない？ じゃあ つづきを。

「チェッシャにゃん！」って、 アリスが よんでね。（ネコにしては すてきな なまえじゃなあい？）「おしえてちょうどい、 ここから どちらに いったほうが よくって？」

すると ネコは、 ぼうしやの ところへ いきたきや こっちの みち、 やよいウサギだったら あっちの みち、 って おしえてくれてね。「どっちも へんにややつ！」って ネコは いうんだけど。

その後 ネコが きえちゃって！ まるで 口ウソクの ひが きえるみたいに！ まあ アリスは やよいウサギのほうへ あるきだすんだけど、 すすんでいくと また そこに ネコが いてさ！ そんなに すぐ でたり きえたりは いやだって いってやったんだ。

すると こんどは ネコも きえるのが すっごく ゆっくりになって、 はじめが しっぽ、 さいごが にやにや。 へんてこじゃあない？ ネコが いなくなってるのに、 にやにやが あるなんて。 みてみたい？

このページの すみを めくってみたら、 にやにやを みてる アリスが でてくるよ。 ネコを みてたときよりも、 ちょっとだけ びくびくしてない、 かな？

これは おかしな おちゃかい。 チェシアネコと わかれたあと、 アリスは チエシアネコの おしえてくれたとおり、 やよいウサギと ぼうしやに あいにいったわけ。 みつけたとき そいつらは おおきな きのしたで おちゃかいをしていてね。 あいだには ヤマネも すわっていて。

テーブルに ついてたのは この3にんだけだったんだけど、 そのまわりには ずらりと ティーカップが ならんでてね。 テーブル ぜんたいは みえないけど、 ほら さしえの ぶぶんだけでも カップが 9こも あるよね、 やよいウサギの てにあるのも くわえると。

そいつが やよいウサギ。 みみが ながくて、 かみに わらが ぐちゃぐちゃ からまってる。 わらが あるって あたまが おかしい しるしからね —— なぜかは わからないけど。 ぜったいに かみのけに くくりつけちゃ だめだよ。 ひとに あいつの あたまは おかしいって おもわれるからね！

それから テーブルの はしに すてきな みどりの アームチェアが あったんだけど、 それが まるで アリスの せきみたいに みえてね。 だから そこへ いって こしを おろしたんだ。

そうして やよいウサギと ぼうしやと ながなが おはなしを して。 ヤマネは あんまり しゃべらなかつた。 ほら いつも ぐっすり ねむってるからね、 たまに ちょっと おきたりするだけで。

ねむってるぶんには やよいウサギにも ぼうしやにも つかいがってが いいんだよ、 だって あたまが まるくて ふかふかだから、 まくらみたいで。 ひじを ついても、 もたれかかっても、 きがねなく はなしを しても いいんだ。 ふつうは あたまを まくらがわりに されるのなんて いやだよね？ でも ヤマネみたく ぐっすり ねむってたら、 きづかないよ。 だから きにならないんじや ないかな。

ざんねんながら アリスは のみもの たべものを すこしも もらえなくって。 でも しばらくしたら おちゃも バタートーストも ごじゅうに どうぞ ってことになつて。 ただ いったい どのせきで たべたんだろうね、 そもそも おさらじたいが ないし。 おさらが あるのは ぼうしやだけで。 いや、 きっと やよいウサギにも あつたかも。 だって みんなで じゅんぐり せきを かえたら（それが このへんてこな おちゃかいの きまりだからね）、 つぎに アリスが すわるのは やよいウサギの せきだし、 そのとき ウサギが じぶんの おさらには ミ

ルクつぼを ひっくりかえして てきづいたみたいだし。きっと おさらと ミ  
ルクつぼは おっきな ティーポットの うらに かくれてたんだよ。

このぼうしやは いつも うりものの ぼうしを もちあるいていてね。あたまに  
のっかってるのも そもそも うりもの。ほら、ねだんが ついてるよね  
——「10」と 「6」—— これは 「ぎんか10まい どうか6まい」ってこと  
。 こんなの へんな うりかたじゃない? あと きれいな ネクタイをつけてない  
? ほら いいかんじの きいろい ネクタイ、あかの みずたまいり。

そいつが たちあがって アリスに ひとこと。「かみを きりたまえ!」 おおき  
な おせわ、だよね? アリスの かみって きらなきゃいけないかな? とっても  
かわいらしい ながさだと —— ちょうど いい ながさだと おもうんだけど。

これが まえに おはなしした きれいな おにわの いっかく。 ほら、 アリスは さいごに なんとか ちいさくなれたから、あのちいさな ドアも ぬけられてね。 たぶん にほんあしで たった ネズミくらいの せたけ。 なので これはもちろん ちっちゃな バラの きで、こいつらは ちっちゃな にわし。

なんて おもしろい こびとさんたち！ いや、ひと、なのかな？ たぶん いきてる トランプなんじゃないかな、あたまと てあしが ついてるから、こびとみたいに みえると。 で、あかい ペンキで なにを しているの、かな？ と、 いうことで アリスに わけを はなしたんだ。 ハートの クイーンが そのあたりに あかい バラの きが ほしいって いったらしいんだけど、なのに かわいそうに このにわしくんたちは おおまちがいを してかして、かわりに しろいのを うえちゃったんだ。 それで もう びくびくしてね、だって クイーンさまきっと はらを たてて、みんなの くびを ちょんぎれって いうに きまってるからね！

ものすごい こわい じょおうさまで、だれかに はらを たてると きまつてそういうんだ。「くびを はねよ！」 だれも だれかの くびを ちょんぎったりしないんだけどね。 だって いうことなんて だれも きかないし。 でも いつもそういうふうに いうんだ。



さあて おいつめられた このにわしたち、どうしてみたのか わからない？ バラを あかく ぬってみたんだ。 おおあわてで、クイーンが くるまえに やっちゃえってね。 そのあとなら たぶん クイーンも もともと しろい きだったなんて わからないしね。 そうなれば たぶん こびとたちも くびを ちょんぎられないで すむし！

ほら きに 5りんの おおきな しろバラが あるよね —— これを みんなあかくするのは けっこう たいへんだよ！ まだ 3つと はんぶんしか おわって

ないし、ほら、それにせめてむだばなしでてをとめたりしなけりや——  
がんばろうよ、こびとさん、がんばってよ！そうしないとおわらないうちに  
クイーンきちゃうよ！きにしろバラがあるってしられたらどうなると  
おもう？きっと「くびをはねよ！」って。もうがんばれって、おまえら！  
いそげ、いそげ！

クイーンがきちゃった！おこってない？ああ、かわいそうなアリスちゃん！

ゲートボールは やったこと ある？ いろんな いろの おおきな きの ボールが あってね、 それを ころがして、 はりがねの ゲートの あいだに とおすんだ。 ながい とつづきの おおきな きづちが あって、 それで ボールを こづいて ころがすんだよ。

さあて さしえを みてごらん。 ほら アリスが ゲートボールを やってるとこ ろだよ。

「でも できてないよ、 なんか よく わかんない おおきいの かかえてるし！ ねえ、 あれじやあ きづち もてないよ？」

うん、 あのね、 あの よく わかんない おおきいの（ほんとの なまえは フラミンゴなんだけど）、 あれが つちなんだよ！ このゲートボールでは ボールは いきた ハリネズミ —— しってる？ ハリネズミって ボールみたく まんまるに なれるんだよ —— で あと つちが いきた フラミンゴって わけ！

それで アリスは ただいま ちょっと おやすみちゅう。 ひさしぶりの おともだち、 ごぜんさまと おはなしするためには。 もちろん なくさないよう つちを わきに かかえててね。

「でも おともだちじゃないし、 あんなやつ！ あかちゃんを ブタっていうし、 アリスの くびを たたっきれって いったし！」

うん、 あれは ほんの じょうだん。 アリスの くびを たたっきれだなんて。 あかちゃんは —— まあ ほんとに ブタだったしね！ あのえがお みてごらんよ！ ねえ、 あのくち アリスの あたまより でっかいよね。 でも あれで みえてるのは はんぶんだからね！

でも ちょっとだけ おはなししたところで、 やってきた クイーンが アリスを つれてっちゃってね。 グリフォンと ウミガメフーミに あわせるんだって。 グリフォンが なにか しらないの？ えっ！ じゃあ なにを しってるの？ こいつは もんだいだ。 でもでも、 さしえを ごらん。 あかい あたま、 あかい つめに みどりの うろこ、 このいきものが グリフォン。 これで わかったね。

それから そのとなりが ウミガメフーミ。 あたまが こウシなんだ。 だって ウミガメフーミの スープには こウシの あたまを つかうからね。 これで わかったね。

「でも こいつら なにしてんの、 アリスの まわりで あんなに ぐるぐる？」

えっ、もちろん わかってると おもってた！ エビの フォークダンスを おどってるんだよ。

グリフォンと ウミガメフーミに つぎ あったとき、 おぎょうぎよく きいてみたら、 きっと また おどってくれるよ。 ただ あんまり ちかよらせないでね。 かわいそうに アリスみたく つまさきを ふまれちゃうから。

# 13 だあれが タルトを ぬすんだの？

ハートの クイーンが タルトを つくる はなし きいたこと ある？ そのあと どうなったか いえる？

「うん、 あつたりまえ！ うたが ぜんぶ おしえてくれるじゃない！

ハートの クインが タルトを つくる

なつの さなか いちにち かけて

ハートの ジャックが タルトを ぬすむ

かくれて こっそり ひとりじめ！」

うん そうだね、 うたは そうなる。 ところが うたが こうだからって ジャックに おしおきするとか なしですよ。 まず わるい やつとして つかまえなきゃ いけなくて、 てくびに くさりを つけて、 ハートの キングのまえに つれてって、 ちゃんとした おさばきを しなきゃね。

さて はじめにある おおきな さしえを みれば、 このおさばきが どんなにおおごとか わかるよね。 さばくひとは キング！

キングって とっても えらい、 よね？ でも そんなに たのしくなさそう。 かつらのうえに のってる おおきな かんむりは おもそうで きゅうくつそうだしね。 でも やっぱり どっちも つけとかないと。 でないと あいつが さばくひとで キングだって みんなに わかんないしね。

で、 クイーン なんだか むすっとしてない？ テーブルのうえに あるのは タルトの おさらだけ、 いっしょにけんめい つくったのにね。 それで いたずらな ジャックを みつけて（てくびから くさりが たれてるの わかるよね？）、 おまえが わたしの つくった タルトを ぬすんだんだ、 って。 だから ちょっとくらい むすっとしてたって むりもないってわけ。

しろウサギが キングの そばに たちながら、 あのうたを よみあげてて、 そいつが どんなに いたずらな ジャックかって みんなに つたえててね。 で、 はなしあうひとが（ほら、 はこがたの ざせきに カエルと アヒルの ふたりが みえるよね） そいつの 「ゆうざい」「むざい」 どっちかに きめるってわけ。

さて これから おはなしするのは、 アリスに なにが おこったか。

でね アリスも はこがたの ざせきの そばに すわってて。 まのあたりにしたひと ってことで よばれたんだ。 まのあたりって なんのことか わかる？ わるいひとが、 おさばきされるようなことを した、 そのげんばを みたってことなんだ。 べつに ただ このおさばきで だいじなことを しってるだけでも いいん

だけど。

ところが アリスは クイーンが タルトを つくるとこなんて みてないし、  
ジャックが タルトを たべるところも みてない。 ほんとのところ、 なあんに  
も しらない。 なのに いったい どうして よびだされたのか。 そんなの ぼく  
にも わからない！

とにかく みんなが よびたがってね。 で しろウサギが おおきな ラッパを  
ふいて、「アリス！」って おおごえ だして。 で アリスは おおあわてで たち  
あがって それから ——

それから なにが おこったと おもう？ うん、 スカートが はこがたの ざせ  
きに ひっかかるって、 ざせきが ひっくりかえって、 さらに はなしあうひとたち  
も かわいそうに そこから おっこちちゃって！

12にん ぜんいん わかるか やってみようね。 ほら、 おさばきを はなしあ  
うひとの かずは 12のはずだから。 ええと、 カエル、 ヤマネ、 クマネズミ  
に イタチ、 ハリネズミに トカゲ、 チャボ、 モグラ、 アヒルに リス、 で  
モグラの うしろに ながい くちばしの わめいてる とりが いるね。  
でも まだ 11。 あと もうひとり みつけないと。

あつ ちいさな しろい あたまが モグラの うしろから でてる。 ちょうど  
アヒルの くちばしの した？ とにかく これで 12。

さしえを かいたひとに よると うるさい とりさんは コウノトリの ひなで（  
もちろん わかったよね？）、 ちいさい しろあたまは ハツカネズミの こどもな  
んだって。 かわいい どうぶつじや ない？

アリスは みんなを そろりそろり ひろいあげてね。 あんまり けがしてないと  
いいんだけど！

あらあら これは！ いったい どういうこと？ アリスに なにが あったんだ？ さて それを これから できるかぎり おはなしするね。 これは おさばきが おひらきに なったところ。 キングが 12にんに ハートの ジャックの ゆうざい むざいを きめろと いってね —— つまり タルトを ぬすんだのは そいつ なのか、 ほかの やつが たべたのか きめるって ことなんだけどね。 でも いじわるな クイーンは とにかく おしおきするって さきに きめたくって。 こんなの ただしくないよね？ だって ほら、 タルトを ぬすんでないんだったら もちろん おしおきなんか だめだし。 おしおきを うけるにしても じぶんの やつ たことにじゃないと、 ね？

だから アリスは いったんだ。「がらくたの からっぽ！」

すると クイーンは こういう。「こやつの くびを はねよ！」（これは おこつたときの おきまりのことばだったね。）

で アリスの へんじ。「あんたたちなんか こわくない！ ただの トランプじゃないの！」

となると みんな ぶんすかするわけで。 ちゅうに とびあがって アリスのうえへ みんなして ふりかかってきました。 まるで ざあざあ にわかあめみたいに。

つぎに どうなったかなんて おもいも よらないよ。 そのつぎはね、 アリスが このへんてこな ゆめから めが さめたんだ。 きづいたら トランプは



ただ きから おちてくる はっぱに なってて、 かぜが びゅーんて かおのほうへ ふきおろしてきててね。

アリスみたいに へんてこな ゆめ みられたら、 すてきじゃない？

いちばん いい やりかたは こう。 まず きのしたで ねそべってね、 じつと またあと ついに しろウサギが とけいを てに はしってきたら そこで め

を とじて、 あとは アリスちゃんに なつたつもりで。  
さようなら、 いとしい アリス、 さようなら！

(おしまい)

## Original Credit

---

The Original Text: *The Nursery "Alice"* (1890)

The Original Author: Lewis Carroll (1832-98)

## えほんのアリス

<http://p.booklog.jp/book/37152>

著者：ルイス・キャロル

訳者：大久保ゆう

絵：aomi88

※この翻訳は「クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1 日本 ライセンス」

(<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>) によって公開されています。

上記のライセンスに従って、訳者に断りなく自由に利用・複製・再配布することができます。

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/37152>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/37152>

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.